

各団体から提出された
今後のVOC排出抑制のための自主的取組における取組の目指すべき方向性及び方策
概要版

1. 提出状況

昨年度に自主行動計画の提出があった41業界団体等全てから38件（電機・電子業界は、4団体合同で提出）の提出があった。

2. 取組の目指すべき方向性について

1団体からは更に抑制していくという前向きな方向性が示されたほか、概ね全ての団体から、「平成22年度比で悪化させないよう取り組む。」という方向性が提出された。

（そのうち、期限の記載なし：11団体、3年後を目処：10団体、5年後を目処：18団体）

3. 取組の方策について

（1）使用原料等の転換・代替

- 例：
- ・水溶性薬剤等への転換（日本染色協会、日本塗料工業会、日本自動車工業会、日本建材・住宅設備産業協会、日本接着剤工業会、日本ゴム工業会）
 - ・ハイソリッド塗料への転換（日本塗料協会、日本自動車工業会、日本工業塗装協会組合連合会、軽金属製品協会）
 - ・VOCを含まない溶剤・接着剤の開発・導入・適用の拡大（線材製品協会）
 - ・低ホルムアルデヒド接着剤の改良、非ホルムアルデヒド系接着剤への切り替えと改良（日本建材・住宅設備産業協会）
 - ・ジクロロメタンにかわるリサイクル性の高い代替洗浄液への移行（日本釣用品工業会）
 - ・トリクロロエチレンに変わる新しい製品の研究や勉強会を実施。（日本金属洋食器工業組合）

（2）生産プロセスの見直し

- 例：
- ・塗装方式等の改良、塗着効率向上（日本塗料工業会、日本自動車工業会、日本自動車車体工業会）
 - ・洗浄シンナー対策（ポンプ大型化等によるシンナー回収率向上）（日本自動車工業会、日本自動車車体工業会）

- ・洗浄槽のこまめな蓋締めの励行、こまめなヒーターOn,Off の励行（全国鍍金工業組合連合会、日本金属ハウスウェア工業組合）
- ・冷却管のメンテナンス（全国鍍金工業組合連合会）
- ・作業時間の制限（全国鍍金工業組合連合会）
- ・めっき技術向上により不具合部発生を防止し、補修作業そのものをなくしていく。（日本溶融亜鉛鍍金協会）
- ・除去装置等、VOC排出削減施設・設備の適正な運転管理（天然ガス鉱業会、石油連盟、日本化学工業協会、日本プラスチック工業連盟、日本表面処理機材工業会）
- ・塗料吹きつけノズル角度見直しによる塗料使用量の削減（プレハブ建築協会）
- ・工程内で排出される化学物質の回収・無害化装置の導入（プレハブ建築協会、日本工業塗装協同組合連合会）
- ・廃液管理の強化（日本ゴム工業会）
- ・塗料の保管・管理を徹底し、塗料の蒸発ロスの低減を図る。（日本自動車車体整備協同組合連合会）
- ・レンタル型トリクロロエチレン回収システムの利用継続（日本金属ハウスウェア工業組合）

（3）その他の取組

- 例：
- ・排出量が増加傾向にある会員会社について、取組状況のヒアリングを実施。（日本鉄鋼連盟）
 - ・排出量の多い物質のみではなく、排出している物質の全ての物質を管理し、これを継続する。（日本製紙連合会）
 - ・出版物等を通じ、サプライチェーン全体で取り組まれるような事例の周知（日本塗料工業会、日本自動車部品工業会）
 - ・ホームページ、講演会等によるVOCに資する情報の共有（日本印刷産業連合会、日本アルミニウム協会、日本ガス石油機器工業会）
 - ・業界で環境配慮基準、自主管理制度を策定。（日本印刷産業連合会、日本接着剤工業会）
 - ・低VOC含有製品の、ユーザーへの積極的使用の働きかけ（ドラム缶工業会、軽金属製品協会、日本オフィス家具協会、日本表面処理機材工業会、印刷インキ工業連合会、日本粘着テープ工業会、日本金属ハウスウェア工業組合）
 - ・塗装の技能を持った従業員の育成（全国楽器協会）
 - ・セミナー等の機会を活用し、VOC自主的取組参加企業の拡大を図る（産業環境管理協会）